

舟川の底生無脊椎動物 (昆虫を除く)

布村 昇

富山市科学博物館 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

Macro-invertebrate animals from Funakawa, eastern Toyama, central Japan

Noboru Nunomura

Toyama Science Museum, Nishinakano-machi 1-8-31, Toyama-shi, Toyama 939-9084, Japan

On macro-invertebrate animals from Funakawa, Nyuzen-machi and Asahi-machi eastern Toyama was surveyed. As the results, fourteen species were enumerated. The dominant species were *Erpobdella lineate*, *Semisulcospira bensoni* and planarians.

舟川は富山県の東部、入善町負釣山を水源とし南から北に流れ、山地から農村部をぬけ、朝日町舟川新と月山で小川に合流し、最終的には入善町と朝日町の境界をなして入善町古黒部、朝日町富山湾に注ぐ。

調査は各調査地点20分から30分程度、主としてタモ網を用いて、転石下や水草、ゴミなども調査した。

但し、明日温泉から上の上流部の多くでは川まで降りることが困難で、調査を行った箇所が限られ、しかも昆虫以外の底生無脊椎動物を全く発見することが出来なかった。

調査日程 [全て平成23年]

3月30日 (布村) 一新左近橋 (入善町舟見)、赤川橋小川河口

7月14日 (布村) 明日温泉より上、今江橋、沢頭頭首工、舟川橋 (入善町野中)、舟川大橋 (朝日町)、高橋、高橋橋、学校橋 (朝日町大家庄)、新舟川橋 (朝日町三枚橋)

8月31日 (布村) 明日温泉より上、新舟川橋 (入善町舟見)、舟川橋 (野中)、三舟橋 (朝日町新)

調査方法

各地点20-30分、石をひっくり返し、タモアミで砂底をさらった。

調査結果

14種の水生無脊椎動物を確認した。これを昨年の小矢部市洪江川、一昨年の立山町栃津川、20年の氷見市の余川川、19年の魚津市角川と比べると、(布村, 2006、2008a、2008b、2009、2010、2011) 全体に種類数、個体数とも少なく、プラナリア類が多く、多くの地点で見られたように水質がきわめて清冽であることを伺わせる。

サカマキガイは強腐水性の指標とされるが、有肺類であるため、適応範囲が広いことを示しているものと思われる。また、富山県の絶滅の恐れのある野生生物で希少種に指定されているドブシジミが2カ所から見つかった。

なお、入善町西部で多く見られるカイエビがまったく確認されなかった。また、もしかしたら世界的にも希な淡水ヒモムシのトヤママミズヒモムシを確認することができないかと期待したが、皆無であった。

表1 最近調査した河川との確認種類数の比較

	舟川	渋江川 (小矢部市)	栃津川 (立山町)	角川 (魚津市)	余川川 (氷見市)
海綿動物	0	1	0	0	0
刺胞動物	0	0	0	0	1
扁形動物	1	0	0	1	1
貧毛類	0	1	1	1	0
ヒル類	5	5	2	3	3
マキガイ	3	5	4	2	3
二枚貝	1	1	0	1	0
甲殻類	4	4	3	2	8
合計種数	14	17	10	10	16
純淡水種	11	16	9	9	16

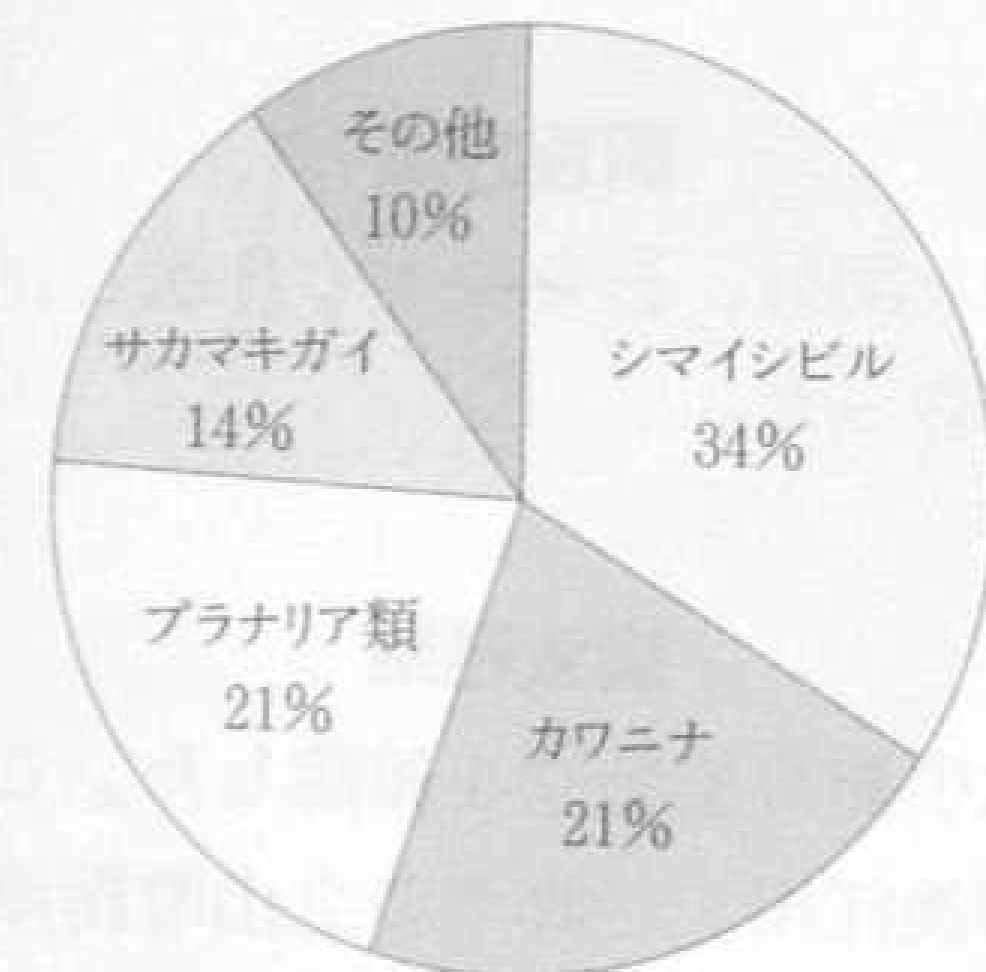


図1 確認した全個体数。
4種で個体数の9割を占める。

リスト

全て2011年で布村の採集による。

※は本来陸産種であるが、水底や水に入った植物上に付着していたもの。

扁形動物 Platyhelminthes

渦虫綱 Turbellaria

三岐腸目 Trichaldida

Schmidtea mediterranea とと思われる

1頭、新左近橋、3月30日；3頭、新舟川橋(舟見)、8月31日；2頭、今江橋、7月14日；1頭、下野橋、7月14日；1頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日；4頭、小川河口右岸、3月30日；5頭、小川河口右岸、3月30日

環形動物 Annelida

ヒル綱 Hirudinea

吻蛭目(ウオビル目) Rhynchobdellida

グロシフォニ科 Glossiphoniidae

イボビル *Hemiclepsis japonica* (Oka, 1932)

1頭、小川河口右岸、3月30日

ヒラタビル *Glossiphonia complanta* (Linnaeus)

1頭、小川河口右岸、3月30日

咽蛭目(イシビル目) Pharyngobdella

イシビル科 Erpobdellidae

シマイシビル *Erpobdella lineata* (O.F.Müller)

2頭、新舟川橋(舟見)、8月31日；1頭、今江橋、7月14日；2頭、下野橋、7月14日；5頭、高橋橋、7月舟川大橋、7月14日；1頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日；2頭、三舟橋、8月31日；5頭、小川河口右岸、3月30日；2頭、小川河口左岸、3月30日

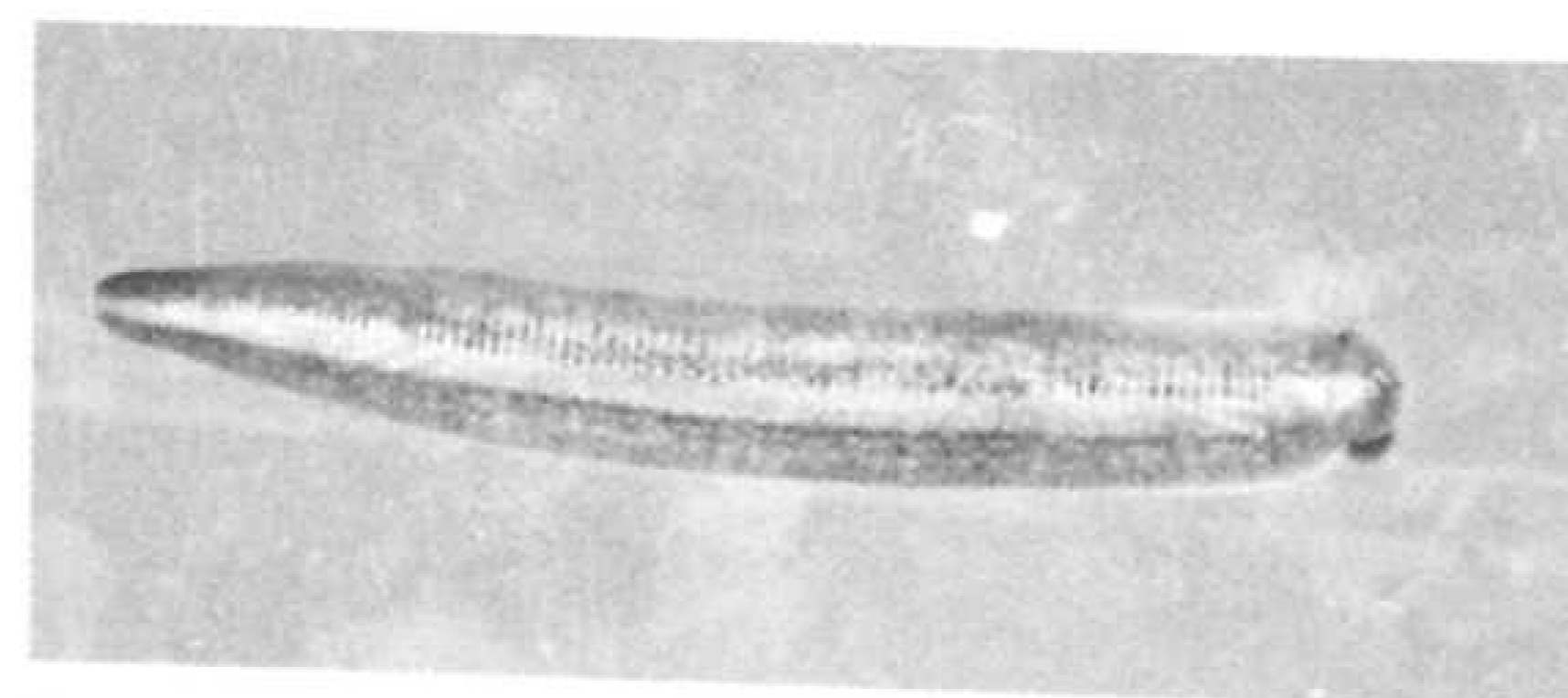


図2 シマイシビル

ナミイシビル *Erpobdella octoculata* Linnaeus

1頭、舟川橋(学校橋)、7月14日

ヒルド科 Hirudinidae

ウマビル *Whitmania pigra* (Whiteman)

1頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日；1頭、三舟橋、8月31日

軟体動物 Mollusca

腹足綱 Gastropoda

新紐舌目 Neotaneioglossa

カワニナ科 Pleuroceridae

カワニナ *Semisulcospira bensoni libertina*

(Gould)

1頭、新左近橋、3月30日；5頭、沢頭頭首工、7月14日；1頭、舟川大橋、7月14日；10頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日

ミズツボ科 Hydrobiidae

コモチカワツボ *Potamopyrgus antipodarum*

(Gray)

1頭、舟川橋(野中)、8月31日

基眼目 Bassomatophora

サカマキガイ科 Physidae

サカマキガイ *Physa acuta* Draparnaud

1頭、新舟川橋(舟見)、8月31日；2頭、舟川橋(野中)、8月31日；1頭、高橋橋、7月14日；1頭、舟川大橋、7月14日；1頭、舟川橋(学校橋)、7月14日；4頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日；2頭、小川河口、3月30日

二枚貝綱 Bivalvia

マルスダレガイ目 Veneoidea

シジミ科 Corbiculidae

ドブシジミ *Spaerium japonicum japonicum*

Westerlund, 1883

1頭、舟川大橋、7月14日；1頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日

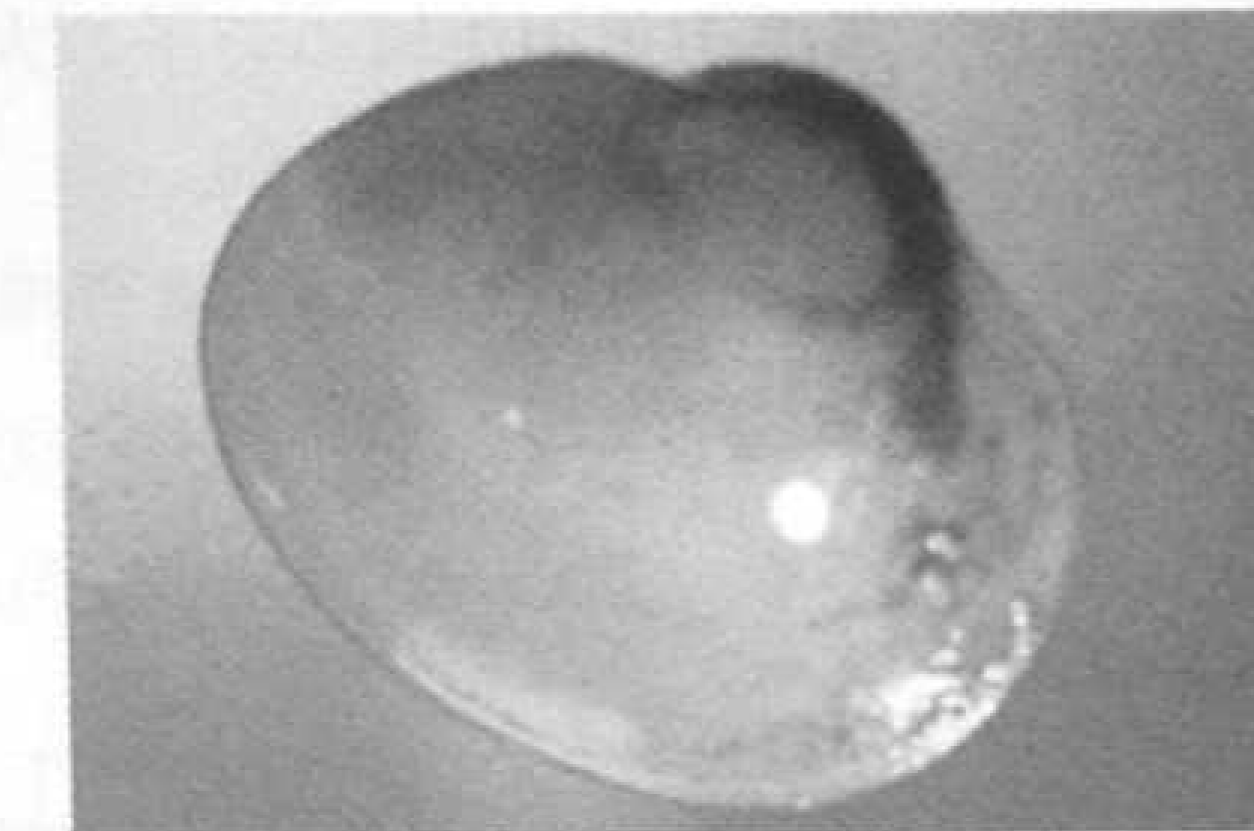


図3 ドブシジミ

節足動物 Arthropoda

甲殻綱 Crustacea

等脚目 Isopoda

ミズムシ科 Asellidae

ミズムシ *Asellus hilgendorfi* Bovalius

1頭、小川河口右岸、3月30日

※ニホンヒメフナムシ *Ligidium (Nipponoligidium)*

japonicum Verhoeff

1頭、今江橋、7月14日

※ワラジムシ *Porcellio scaber* Latreille

11頭、小川河口両岸、3月30日

※オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare*

(Latreille)

3頭、舟川橋(学校橋)、7月14日；3頭、新舟川橋(三枚橋)、7月14日；1頭、三舟橋、8月31日

謝辞

さまざまな情報をいただいた福田保氏、南部久男氏ほかの会員諸氏に御礼申し上げる。

引用文献

布村昇. 2006. 昆虫を除く無脊椎動物門(底生動物). 富山県魚津農地林務事務所・富山県水生生物研究会・水土里ネット富山. 黒部川合口流域地区生態系調査, pp.140-188. 富山県魚津農地林務事務所, 魚津.

布村昇. 2008 a. 魚津市角川の底生無脊椎動物(昆虫を除く). 富山の生物. 47: 59-61.

布村昇, 2008b. 魚津市角川流域の若干の大型無脊椎動物. 富山の生物, 47:63-64.
 布村昇, 2009. 氷見市余川川の底生無脊椎動物 (昆虫を除く). 富山の生物, 48:23-27.

布村昇, 2010. 析津の底生無脊椎動物 (昆虫を除く). 富山の生物, 49:19-21.
 布村昇, 2011. 渋江川の底生無脊椎動物 (昆虫を除く). 富山の生物, 50:23-27.

表2 地点別確認個体数

	ブラナリア類	イボビル	ヒラタビル	シマイシビル	ナミシイシビル	ウマビル	カワニナ	コモチカワツボ	サカマキガイ	ドブシジミ	ミズムシ	純水性種数	ニホンヒメフナムシ	ワラジムシ	オカダンゴムシ
源流付近												0			
明日温泉上												0			
新左近橋	○						○					2			
新舟川橋 (舟見)	○			○					○			3			
今江橋	○											1	○		
舟川橋 (野中)								○	○			2			
下野橋	○			○								2			
沢頭頭首工							○					1			
高橋橋				○					○			2			
舟川大橋				○			○		○	○		4			
舟川橋〈学校橋〉					○				○			2			○
新舟川橋 (三枚橋)	○			○		○	○		○	○		5			○
三舟橋				○		○						2			○
小川赤川橋												0			
小川河口	○	○	○	○					○		○	6		○	
出現地点数	6	1	1	7	1	2	4	1	7	2	1		1	1	3
確認個体数	17	1	1	28	1	2	17	1	12	2	1		1	11	7

舟川の魚類

稲村 修・不破光大・伊串祐紀・草間 啓
 魚津水族館 〒937-0857 富山県魚津市三ヶ1390

Freshwater fishes from Funakawa river, Toyama Prefecture

Osamu Inamra, Mitsuhiro Fuwa, Yuki Igushi and Satoshi Kusama
 Uozu Aquarium, Sanga 1390, Uozu-shi, Toyama 937-0857, Japan

はじめに

舟川 (地元ではフナガワと発音している) は、下新川郡入善町と朝日町の境目にある負釣山 (おいつるしやま) (標高959.3m) を水源とし、入善町舟見地区から朝日町舟川新地区を巡って小川の左岸側に合流する二級河川である。

今回、富山県生物学会による舟川流域総合調査の一環として、2011年6月19日と9月10日の2日間、魚類調査を行ったので、その結果を報告する。

調査方法

調査は投網、手ダモを用いた生物採集 (特別採捕許可証を取得) と目視観察とした。原則として、採集した魚類や水棲生物の同定および個体数、全長の測定はその場で行い、写真撮影後に放流した。魚類の分類および学名は日本産魚類検索 (中坊, 2000)、トウヨシノボリは鈴木ほか (2011)、スミ

ウキゴリはStevenson (2002) に従った。

調査地点

入善町舟見地区から朝日町舟川新地区の小川との合流点まで (源流部を除く) と、朝日町赤川地区の小川下流部を調査地域とした。調査地点は5地点に定め、上流部から順に定点①~定点⑤とした (図1)。各調査地点の状況を以下に記す。尚、各地点の写真はすべて下流から上流に向かって撮影した。

[定点①: 組戸橋周辺]

舟川上流部で建設中の舟川ダムの下流に架かる組戸橋周辺を調査した。本地点は上・下流とも高い堰堤があり、傾斜のおだやかな平坦部である。河床には転石が点在し、両岸は山裾が近く、川縁にはヨシ等の植物が豊富に繁茂していた。

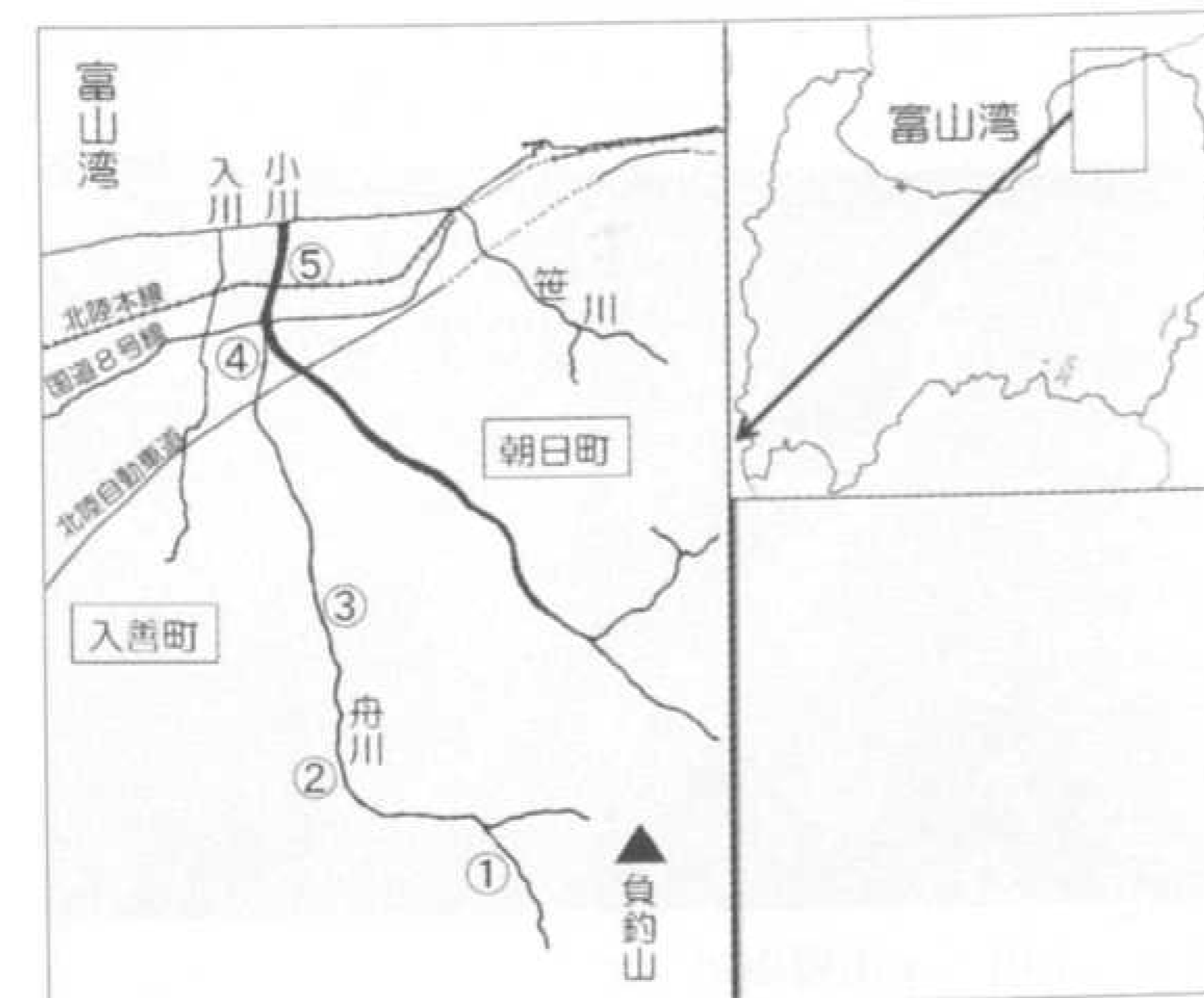


図1 舟川調査地点図



図2 組戸橋周辺